

記入のしかた

① 計画の同意と基本情報の記入

海津市避難行動要支援者名簿登録台帳兼個別避難計画（記載例）

私は、海津市避難行動要支援者名簿への登録を申請します。

☒ 個別避難計画の作成に同意します。 ☐ 自分で作成される場合は、最後まで記入して提出ください。

☒ 支援を受けるために必要な個人情報を、海津市地域防災計画に定める避難支援等関係者（民生委員児童委員、市議会議員、自治会長・自主防災組織、社会福祉協議会、警察署、消防本部等市関係課）及び避難支援者、居宅介護支援事業所へ提供することに同意します。

提出の日付 令和6年8月8日

「個別避難計画の作成」および「避難支援等関係者への情報提供」の同意にチェックします

海津市長 宛て

要支援者本人氏名 海津市郎

本人の署名をします（代理人の場合は代理署名）

代理署名者 海津市葉

（本人との関係 子）

ふりがな 本人氏名	かいづ いちろう 海津市郎	生年 月日	昭和22年6月22日	自認 性別	男
住 所	〒503-0654 海津市海津町高須517番地			自治会名	高須
電話番号	53-0000	携帯電話番号	080-0000-0000		
FAX	53-0000	メールアドレス	kaizu-ichiro@xxxx.ne.jp		
世帯状況	☐ ひとり暮らし ☐ 家族全員が75歳以上 ☐ 本人以外にも要支援者が居る 昼間帯の本人以外の在宅者数：平日（0）人、土曜（1）人、日祝日（1）人				
同居家族	名前	続柄	連絡先	備考	
	海津市葉	子	090-0000-0000		
住居の状況	住宅の種類 ☒ 一戸建て（2階建） ☐ 集合住宅（居住階）		お住まいの間取り（別紙添付も可） ※玄関、普段いる部屋、寝室の配置が分かるように記載してください。		
家の中で 過ごす場所	・普段いる部屋 （1階 玄関側 奥側）		普段過ごしている場所が わかるように記載をくだ さい		
	・寝室の場所 （1階 玄関側 奥側）				

利用中の 福祉・介護 関係事業所	●●介護事業センター		電話 54-0000
			電話
医療関係情報 (欄が不足する 場合は別紙)	かかりつけ医療機関・電話番号	既往歴または治療中の傷病名	携行する医薬品
	●●医院 0584-54-0000	高血圧	●●●
	△△市民病院 0584-78-0000		○○○
	☐ 透析 ☐ 吸引器 ☐ 人工呼吸器 ☐ 酸素療法 ☐ ペースメーカー ☐ その他 ()		

現在行っている医療行為等を記入してください

② 避難時や避難所において配慮してほしいことなどを記入

避難時や避難 所において 必要とする 支援・配慮	食 事 ☒ 一人でできる ☐ 見守りが必要 ☐ 全介助 ☐ 通常食 ☐ 刻み食 ☐ 流動食 ☐ 経管栄養
	移 動 ☐ 自立 ☐ 杖が必要 ☒ 車椅子 (自走→ ☒ 可 ☐ 不可) ☐ 介添者が必要
	排 泄 ☒ 自立 ☐ おむつ使用 ☐ ストマ (尿、便) ☐ 介添者が必要
	アレルギー ☒ 無 ☐ 有 ()
	☐ 書いてある文字やまわりのものが見えない (見えにくい)
	☐ 言葉や文字の意味を理解できない (理解が難しい)
該当する項目 すべてに ☒ を つけてください。	☒ 周囲の音が聞こえない (聞き取りにくい)
	どうすれば良い→ ☒ 補聴器 ☐ 筆談 ☐ その他 ()
	☐ 自分で意思を決定することや、意思の伝え方について支援や配慮が必要 ☐ 筆談 ☐ 「はい・いいえ」や単語のみできる ☐ 文字盤 ☐ 全くできない
その他の配慮	配慮してほしいことや知ってもらいたいことを記載してください (持病や薬のことなど)

③ 避難の時に支援してもらえる人 (以下、避難支援者という) の確認

避難支援者 ※緊急時にあなたを支援する方。 <u>事前に同意を得てから記入してください。</u>	☒ ←緊急連絡先と同じ場合は、こちらに ☒ をつけてください		
	氏 名	住 所	連絡先
	家族など緊急連絡先と同じ場合は、ここにチェックします		
	避難支援者となる方に、関係団体等へ情報提供してもよいか確認しましょう		

「避難支援者」について

○避難支援者は、要支援者への避難情報の伝達や近隣住民等への手助けの支援を行っていただく方です。（法的責任や義務はありません）

（支援内容の例：可能な範囲での安否確認、避難誘導、「高齢者等避難発令」時の声掛け、近隣住民等への手助け依頼、平常時からの避難訓練の実施等）

○避難支援者に対して、災害時に要支援者を必ず避難所まで連れていくことを義務付けるものではありません。

また、避難支援者も被災者となることが想定されるため、まず、自分と家族の安全を確保した後、可能な範囲での支援の実施をお願いします。

「避難支援者」の選定

○避難支援者の選定にあたっては、まず、本人と本人の状態や配慮すべき事項を一番把握されていると思われる、家族（同居、別居含む）や親族の選定を検討します。

○親族が近くにいない場合は、近隣の方や、自治会、自主防災組織等が考えられます。

本人や家族等から普段のお付き合いの中で、避難支援者となっただけそうな方を聞き取っていただいた後、避難支援者となる候補の方へ趣旨を説明し、同意を得てください。なお、常に要支援者に関わっているが避難支援者として対応が可能な場合は、その旨を記載します。

避難支援者が選定できない場合

○避難支援者を選定することで、避難の円滑化や避難行動への支援の可能性が高まることが期待できますが、日頃から近隣との付き合いがない場合や支援者が近くにいない場合等においては、選定できない場合も考えられます。

避難支援者が決まらない場合も登録できますが、引き続き、協力していただける支援者の検討をお願いします。

④ 避難場所・避難経路の記入

避難予定場所	☒ 自宅の2階以上		
	☒ 近くの建物	その場所	●●集会所
	☐ その他		
避難場所への経路	移動の方法	☒ 自力 ☐ 家族の協力 ☐ 支援者の協力	
	移動の手段	☐ 自転車 ☐ バイク ☒ 自動車【 ☐ 自分で運転 ☒ 運転不可】 ☐ 徒歩 ☐ その他（ ）	
	☆避難の際に注意すべき箇所（水没や塀の倒壊の恐れがある等）をできるだけ避けた避難経路を記入（地域で危険箇所マップを作成されている場合は参考に）してください。		

本人や家族と相談して避難場所を決めましょう

自宅から避難場所までの経路を記入します

○災害時にどのような避難行動をとるか、本人または家族等の意向を聞きながら、本人の状況に応じて検討します。

○自宅外への避難が必要な場合、安全な場所にある親族宅や知人宅への避難も含めて検討しましょう。また、地域での取り決めがある場合は、それらも参考に検討を進めることも大切です。

○避難は指定避難所へ行くことだけではありません。本人の医療的ケアの必要性や、長距離の搬送が困難な場合は、自宅内での垂直避難も有効な避難になります。在宅避難とする場合は、災害時に備えて備蓄しておく物資についてあらかじめ確認しておくことで災害時の安心につながります。